

## 第87回理事会議事録

1. 開催日 平成22年4月15日(木) 12:00
2. 場所 鉄鋼会館802号室
3. 出席者 高木理事長、酒匂副理事長、林副理事長、永吉副理事長  
阿部理事、岩谷理事、大川理事、高橋理事、秦理事、原理事、  
吉里理事、角田理事、八十川理事、真柄理事、高田理事、木村理事、  
山崎理事、藤澤理事、浅利理事、額額監事、松田監事  
事務局(柘野・染宮)
4. 議題
  - ①理事長挨拶
  - ②副理事長、委員長の選任について
  - ③第35期通常総会への付議事項について  
(議案) 21年度事業報告及び決算報告  
(議案) 任期満了に伴う役員の改選について  
(議案) 22年度事業計画及び予算案
  - ④第35期通常総会の出席予定者について
  - ⑤総会運営に関する役割分担(案)について
  - ⑥懇談

### 5. 経過

#### (1) 理事長挨拶

高木理事長より大要以下の挨拶が行われた。

「リーマンショック以降、在庫調整に追われた1年だった。ようやく足元の在庫レベルは適正範囲内に入ってきたが、建設業、製造業とも我々に関連する需要は最悪の状態にあり、22年度も回復への動意が全く見られない。このような状況を踏まえ、当組合としては、毎月の機関誌やHPでメッセージを発信するとともに、また定例懇談会の場を通じて経済産業省やメーカーに対し我々の意見を開陳し、適宜要望活動を行っている。22年度においても、材料メーカー、需要家など関係先との対話をより深め、いろいろ注文を出してまいりたい。すなわち、①材料メーカーは、昨今のマーケットの変化が大きすぎて適切な対応が取れず、実需見合いの供給がなされていない。量の管理面からみるとメーカー側の責任は大きい。これを解消するにはやはり工期短縮が不可欠であり、この点をメーカーに引続き要請してゆく。②シャー需要の5割が建設向けで、とりわけファブとの関係が強い。シャーとはセムポートの関係にあり、業務の効率化・合理化の方策を協議することは双方にメリットがある。品質証明ガイドラインが昨年完成し、

諸コスト有償化の構えができたので、双方が歩み寄れる仕掛けを作って合理化の途を探ってまいりたい。ファブとのリンケージをより強固なものにすることが先決だ。最後に、③地方の疲弊が顕著であること等を勘案し、中央と支部との情報交換・交流を広範囲に展開していきたいと思う。本年度も皆様のご協力を引き続きお願いしたい。」

## (2) 副理事長、委員長の選任について

社内事情等により副理事長及び委員長辞任の申し出があり、その後任候補については各支部から以下の通り推薦があった。本件に関し、定款第28条一項、および定款第50条一項に基づき議場に諮った結果、候補者全員が満場一致で選任された。

### 1) 副理事長の交替

新：木村 秀明	(大阪支部)	(株)日鉄神鋼シャーリング社長
前：永吉 明彦	(大阪支部)	(株)シーヤリング工場社長

### 2) 委員長の交替

#### 技術委員長

新：永吉 明彦	(大阪支部)	(株)シーヤリング工場社長
旧：高田 克己	(東海支部)	東海鋼材工業(株)取締役

## (3) 第35期通常総会への付議事項について

事務局より、5月21日開催の通常総会に付議する議案内容に関し説明、了承された。

## (4) 第35期通常総会の出席予定者について

事務局より、4月14日現在の出席者数等について報告があった。

## (5) 総会運営に関する役割分担(案)について

事務局より、総会当日の役割分担案を説明、原案通り了承された。

## (6) 懇談

出席の理事より、各地区の需要動向や問題点を中心に報告があり、種々意見交換が行われた。

以上